

主要施策名：(4)観光・物産プロモーションの推進

事務事業本数：14

基本目標(章)	主要施策(節)	施策区分	事務事業コード	事務事業	所管課
③賑わいと活力ある産業づくり	(4)観光・物産プロモーションの推進	(1)インバウンド事業の推進	341-1	市民会館管理事業	管財課
		(5)6次産業化の推進	345-1	6次産業推進事業	ふるさとセールス課
			340-1	玉名ブランド推進事業	ふるさとセールス課
			340-2	マスコット管理事業	ふるさとセールス課
			340-3	施設等管理運営事業	ふるさとセールス課
			340-4	草枕の里事業	ふるさとセールス課
			340-5	イベント誘客事業	ふるさとセールス課
		(1)インバウンド事業の推進	341-2	受け入れ態勢整備事業	ふるさとセールス課
			340-6	地域づくり事業	ふるさとセールス課
		(1)インバウンド事業の推進	341-3	情報発信事業	ふるさとセールス課
		(2)着地型観光商品開発の推進	342-1	協議会等連携・支援事業	ふるさとセールス課
		(1)インバウンド事業の推進	341-4	インバウンド推進事業	ふるさとセールス課
		(4)玉名版DMOの構築	344-1	玉名版DMO構築事業	ふるさとセールス課
			340-7	金栗四三PR事業	金栗四三PR推進室

# 事務ふりかえりシート

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	市民会館管理事業		所管課 【2】	管財課
			評価者(担当者)	酒井 裕之
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	③賑わいと活力ある産業づくり		
	主要施策(節)	(4)観光・物産プロモーションの推進		
	施策区分	(1)インバウンド事業の推進		
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 0 千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 玉名市民会館条例 】 <input type="checkbox"/> その他の計画【 玉名市民会館条例、市民会館条例施行規則 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
	事業区分 【6】	<input type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input checked="" type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務		
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 】【 款 2 項 1 目 6 細目 1			

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	音楽・演劇の鑑賞や集会・式典など、さまざまな文化活動等の中核施設として、また地域振興の拠点である市民会館については、公の施設として管理する必要があるため。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	市民会館
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	住民が利用しやすい施設として、修繕等を行いながら長期的に利用できるよう管理を行い、また運営面でもサービスの向上を図る。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】		
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【		
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他【 指定管理		
事務事業の具体的な内容 【14】	市民会館については指定管理により平成27年4月1日から平成32年3月31日まで管理及び運営を指定管理団体へ委任している。また、ホールに係る修繕については協定により100万円以上のものが発生した場合は市の負担により、破損状況を確認し修繕を行う。		【15】 事務事業を構成する細事業(2)本 ① 市民会館指定管理業務 ② 市民会館維持管理業務 ③

## 《事務事業実施に係るコスト》

			H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算	全体計画
投入コスト	事業費(千円)	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	22,875	22,884	39,593	39,413	0
		【16】 小計	22,875	22,884	39,593	39,413	0
[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)			0	0	0	0	
職人 員 件 の 費	職員人工数	0.10	0.05	0.05	0.05		
	職員の年間平均給与額(千円)	5,871	5,925	5,925	5,925		
	【17】 小計	587	296	296	296		
合計			23,462	23,180	39,889	39,709	

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H27実績	H28実績	H29実績	H30計画
① 市民会館指定管理業務	指定管理協定に基づく負担による修繕を行う。	修繕件数	箇所	1	1	1	1
② 市民会館維持管理業務	市民会館を効率的に安全で快適に使用できるように指定管理者に管理運営させる。	開館日数	日	360	283	360	360
③							

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価		H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算		H30年度予算	
	対象(市民会館利用者数)	107847	106567	110727		110727	
	投入コスト合計(千円)	23,462	23,180	39,889		39,709	
	対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	0		0	
	コスト評価(対前年比)	***	100.01% (↑)	60.38% (↓)	100.45% (↑)		

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H27目標	H28目標	H29目標	H30目標
			H27実績	H28実績	H29実績	
1 市民会館利用者数	市民会館を利用した年間延利用者数	人	—	—	106567	110727
			107847	106567	110727	
2						
* 成果未達成時の理由						

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input checked="" type="checkbox"/> ・法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	
	<input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている	
	<input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	
	<input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる	
	<input type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	
	<input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている	
	<input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	
効率性 【22】	<input checked="" type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
	<input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	
	<input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある	
	<input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	
	<input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した	
	<input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	
	<input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる	
	<input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい	
	<input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	
	<input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している	
	<input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】	【24】
	<input type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input type="checkbox"/> ・設定できない理由( )	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	特になし。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小して継続	総合判定 A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	<input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止			
	効率化を図り幅広い年齢層への周知活動、H32年度以降は、公募による指定管理選定等を予定している。			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【27】	適切な管理・運営に努め、新市民会館完成後は、指定管理者との協議を密に行い、内容の充実を図ること。	評価責任者 藤森 竜也
-------------------	--	----------------

# 事務ふりかえりシート

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	6次産業推進事業		所管課 【2】	ふるさとセールス課
			評価者(担当者)	田上 真紀
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	③販わいと活力ある産業づくり		
	主要施策(節)	(4)観光・物産プロモーションの推進		
	施策区分	(5)6次産業化の推進		
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input checked="" type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 0 千円】			
	<input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 6次産業活性化委員会要綱、6次産業推進補助金要綱 】			
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業			
	<input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【		】 款	6 項
			1 目	3 細目 10

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	農林漁業を取り巻く現状は、農林漁業従事者の高齢化、後継者不足、耕作放棄地の拡大、食料自給率の低下、農林漁業所得の減少、TPP問題等国際情勢の変化など、様々な問題が積山している状況である。そのため玉名市では、地域経済の再建や活性化を図るために地域の基盤産業が連携を強化し、産業力の向上に取り組むとともに、地域資源を地域加工品として付加価値をつけ、磨き上げ、販路拡大等に向けた取り組みを進めていくことが重要である。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	6次産業に取り組む市内の農林漁業者(1次生産者)
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	6次産業を確立することにより、農林漁業者(1次産業者)の所得向上および地域活性化を図る。 6次産業推奨品を平成31年度までに、現在の19商品から新たに10商品認定する。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H22 年度から】 【 年度～ 年度まで】		
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【		
実施方法 【13】	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【		
事務事業の具体的な内容 【14】	産業力の向上及び地域活性化を目的として、玉名市内で生産した農水産物を活用して、6次産業化する事業者を支援する。 ・個別相談会(研究開発、販路開拓等) ・勉強会(販路開拓セミナー) ・販路開拓支援(展示会等での支援) ・6次産業推進事業補助金の交付 ・催事、商談会等の情報提供等		
	【15】	事務事業を構成する細事業(2)本 ① 商品開発事業 ② 販路開拓事業 ③	

## 《事務事業実施に係るコスト》

			H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	2,403	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	7,577	7,698	4,799	9,831	0
		【16】 小計	9,980	7,698	4,799	9,831	0
		[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0	0	0	0	
	職人 員 件 の 費	職員人工数	2.30	2.11	1.36	1.36	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,871	5,925	5,925	5,925	
【17】 小計		13,503	12,502	8,058	8,058		
合計			23,483	20,200	12,857	17,889	

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H27実績	H28実績	H29実績	H30計画
① 商品開発事業	補助金を交付することにより6次産品の開発を支援する。	補助金交付件数	回	2	2	6	6
② 販路開拓事業	市場調査(テストマーケティング)の場の提供、販路開拓(商談)支援	販売会の開催、商談会での支援回数	回	36	29	17	17
③							

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価		H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算		H30年度予算	
	対象(6次産業に取組む市内の農林漁業者(1次生産者))	0	0	19	20		
投入コスト合計(千円)	23,483	20,200	12,857	17,889			
対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	677	894			
コスト評価(対前年比)	***	0.00%	(-)	0.00%	(-)	75.65%	(↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H27目標	H28目標	H29目標	H30目標
			H27実績	H28実績	H29実績	
1 6次産品売上高	市の補助金を活用して開発された6次産品の販売金額	千円	94000	70000	70000	50000
			61900	58277	50683	
2 6次産業推奨品認定数	市が推奨品として認定した商品数	品	—	—	3	5
			—	—	0	

\* 成果未達成時の理由 似たような商品が多く、販路を開拓し定着していくことが難しい。1次生産者は農産物の生産に忙しく、新たな商品を次々に開発することは難しい。

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い c
	<input type="checkbox"/> ・法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	
	<input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要がある	
	<input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	
	<input checked="" type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる	
	<input type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	
効率性 【22】	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
	<input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	
	<input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある	
	<input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	
	<input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い c
	<input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した	
	<input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	
	<input checked="" type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる	
	<input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい	
	<input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	
公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】	【24】
	<input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由( 受益者負担はなじまない )	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	29年度からは個別相談会として現地指導を行ったことで、より実践的な相談会となり事業者の満足感につながった。また、経営コンサルタントとの委託契約が今年3年目になるので、成果をふまえて今後の方向性を見直す。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input checked="" type="checkbox"/> 縮小して継続	総合判定 C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	新商品の開発数は減少傾向にあるため、今後の勉強会及び研修会の内容は販路開拓事業を中心に進める。ただし、第3期玉名市6次産業推進計画の推進目標として、H31年度末までに6次産業推奨品を10商品認定することを掲げているので、引き続き新商品開発及び推奨品認定を推進していく。 物産展については、昨年度同様ブランド物産と連携して取り組んでいく。予算は縮小。			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【27】	平成23年度から補助金を交付し、1次産業者の6次産業化を推進してきて8年目を迎え、第3期推進計画の2年目となる。第2次市総合計画の重点施策ではあるが、30年4月現在、6次産業事業者は17者であり、新規参入者もあるものの、第4期推進計画を策定すべきか検討も必要と考える。事業者の中には補助金に頼らずとも事業展開が可能なるも育ってきており、市として6次産業化の支援をいつまですべきか検討が必要と考える。	評価責任者 吉田 勇人
-------------------	---	----------------

事務ふりかえりシート

《基本情報》

Table with 7 rows for basic information including project name (玉名ブランド推進事業), objectives, implementation basis, and classification.

《事務事業の目的》

Table with 3 rows detailing the purpose of the project, target audience (玉名ブランド物産協会会員), and the intended impact.

《事務事業の概要》

Table with 5 rows summarizing project details such as duration (年度), entity (国/県/市/民間/其他), implementation method, and specific content (玉名市ブランド戦略プランに基づき...).

《事務事業実施に係るコスト》

Large table showing cost breakdown for H27, H28, H29, and H30, categorized by '投入コスト' (operational costs) and '職員費用' (staff costs).

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H27実績	H28実績	H29実績	H30計画
① 玉名ブランドPR事業	集客が多いイベントへブース出展して、ブランド物産品をPRする	イベントへの参加回数	回	2	2	4	2
② キラリかがやけ玉名物産展事業	物産展を開催してブランド物産品を販売する	参加業者の件数	件	—	—	16	20
③ オリジナルロゴマーク管理事業	オリジナルロゴマークの作製及び使用申請の審査・許可を行う	作製及び審査件数	件	—	—	0	1

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価		H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算		H30年度予算	
	対象(ブランド物産協会会員)	0	0	32		32	
	投入コスト合計(千円)	12,407	7,245	10,460		12,653	
	対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	327		395	
	コスト評価(対前年比)	***	0.00%	(—)	0.00%	(—)	82.67%

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H27目標	H28目標	H29目標	H30目標
			H27実績	H28実績	H29実績	
1 ブランドの知名度	物産展での集客人数	千人	—	—	—	1700
2 玉名市物産展での売上	物産展でのブランド物産品の販売額	千円	—	2500	2500	3000
			2253	2385	3211	

\* 成果未達成時の理由 成果指標「物産展での集客数」を今年度新たに設定したため

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い c
	<input type="checkbox"/> ・法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	
	<input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要がある	
	<input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	
	<input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる	
	<input type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	
	<input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている	
効率性 【22】	<input checked="" type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	
	<input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
	<input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	
	<input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある	
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い c
	<input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	
	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している	
	<input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した	
	<input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	
	<input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる	
	<input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい	
公平性	<input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	公平性 a 高い b やや高い c やや低い d 低い c
	<input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している	
公平性	<input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	公平性 a 高い b やや高い c やや低い d 低い c
	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】	
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(受益者負担はなじまない) 【24】	公平性 a 高い b やや高い c やや低い d 低い c
	<input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	物産展などのイベントへ6次産業事業者と同時出展することで、販売商品数も増加し集客につながった。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小して継続	総合判定 C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	<input checked="" type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 交通費や運搬費など事業者負担がブランド物産と6次産業事業者では異なっているため、今後調整を検討する。玉名ブランドは新幹線開通時に認定したものであり、認定から7年がたち認定品の中にはなくなったものもみられるため、ブランド認定商品の見直しを検討する。			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【27】	玉名ブランド推進事業は、「玉名」という地域ブランドを対外的に周知し、認知度を向上させるための事業であり、東京(渋谷)、大阪(千里)、広島市でイベントを開催し、認知度向上に努めてきた。今後は、今までの地域を見直し、新規の地域を検討する必要もあるかと考える。	評価責任者 吉田 勇人
-------------------	---	----------------

# 事務ふりかえりシート

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	マスコット管理事業		所管課 【2】	ふるさとセールス課
			評価者(担当者)	田上 真紀
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	③賑わいと活力ある産業づくり		
	主要施策(節)	(4)観光・物産プロモーションの推進		
	施策区分			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 0 千円】			
	<input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 玉名市マスコット「タマにゃん」の使用に関する規則 】			
	<input type="checkbox"/> その他の計画【 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的的事业 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業			
	<input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 】			款 7 項 1 目 2 細目 14

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	音楽イベントマスコットとして誕生し、平成23年度から玉名市のマスコット「タマにゃん」として正式に位置づけ商標登録している。その「タマにゃん」を玉名のイメージアップや認知度向上に積極的に活用していく必要がある。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	マスコット使用申請者及び着ぐるみ貸出申請者
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	タマにゃんの着ぐるみの貸出やマスコットの使用によって、市のPR活動やイメージアップにつなげ、市内外における玉名市の認知度の向上を図る。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H19 年度から】 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】
実施方法 【13】	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】
事務事業の具体的内容 【14】	申請者が実施する企画や実施する音楽をはじめとした様々なイベント等の場において、「タマにゃん」の使用が適切と審査した場合には、無償でマスコット・着ぐるみの使用・貸し出しを許可する。
	【15】 事務事業を構成する細事業( 3 )本 ① 玉名市マスコット管理事業 ② ③

## 《事務事業実施に係るコスト》

		H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	0	28	627	298
		【16】 小計	0	28	627	298
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0	0	0	0	
	職人 員件 の費	職員人工数	0.16	0.44	0.66	0.66
		職員の年間平均給与額(千円)	5,871	5,925	5,925	5,925
	【17】 小計	939	2,607	3,911	3,911	
	合計	939	2,635	4,538	4,209	



《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H27実績	H28実績	H29実績	H30計画
① 玉名市マスコット管理事業	マスコット画像及び着ぐるみの使用・貸出し・申請の審査・許可する。	使用申請審査件数	件	99	108	88	90
②							
③							

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価		H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算
	対象(マスコット使用申請者及び着ぐるみ貸出申請者)	99	108	88	90
	投入コスト合計(千円)	939	2,635	4,538	4,209
	対象1単位あたりのコスト(千円)	9	24	52	47
	コスト評価(対前年比)	***	38.88% (↓)	47.31% (↓)	110.27% (↑)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H27目標	H28目標	H29目標	H30目標
			H27実績	H28実績	H29実績	
1 マスコット使用許可件数	マスコットの使用を許可した年間件数	件	20	50	50	30
			44	43	33	
2 認知度向上	市外出動件数	件	***	***	—	20
			***	***	17	

\* 成果未達成時の理由 イベントが重なり貸出をお断りした案件があった。

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/> ・法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	
	<input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要がある	
	<input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	
	<input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる	
効率性 【22】	<input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている	
	<input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	
	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	
	<input checked="" type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
有効性 【23】	<input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある	
	<input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	
	<input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	
	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している	
公平性	<input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した	【24】
	<input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる	【24】
	<input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい	
	<input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	
	<input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している	
	<input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	
公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】	【24】
	<input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できる <input type="checkbox"/> ・設定できない理由( )	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	新たな着ぐるみを作製したことで、外部への貸し出し専用として利用できるようになり、積極的に貸し出しているらなどでタマにやんをPRできるようになった。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小して継続	総合判定 C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	<input checked="" type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 金栗四三PR推進室と連携してPRする。 着ぐるみ貸出回数増加や、タマにやんツイッターを利用してタマにやんの認知度を広めていく。 平成30年度は、各課で開催するイベントでタマにやんを使ってもらうよう周知する。			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【27】	「タマにやん」の認知度も上昇傾向にあり、多くの方から愛される存在となってきた。市のWEBサイト「タマてパコ」においても、タマにやんが案内役を務める仕様としており、今後、益々の露出が増えると思われる、玉名市の認知度向上に寄与するものと考え、玉名市のキャラクターとして、今後の更なる活躍を期待するものである。	評価責任者 吉田 勇人
-------------------	--	----------------

# 事務ふりかえりシート

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	施設等管理運営事業		所管課 【2】	ふるさとセールス課
			評価者(担当者)	本田 祐一
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	③賑わいと活力ある産業づくり		
	主要施策(節)	(4)観光・物産プロモーションの推進		
	施策区分			重点 施策 【4】 <input type="checkbox"/> 該当
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 0 千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 観光ほっとプラザ「たまら」条例、玉山市ふるさとセンターY・BOX条例等 】 <input type="checkbox"/> その他の計画【 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的的事业 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input checked="" type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【		款 7	項 1
			目 4	細目 2

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	地域資源を活用し、多くの観光客に来院してもらい経済効果を生むとともに、資源を有する地域の活性化を図る必要がある。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	利用者
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	適切な運営管理と利用者の増加を図る。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】		
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【		
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他【 指定管理者制度 】		
事務事業の具体的内容 【14】	・「たまら」は指定管理制度における基本協定に基づき、指定管理者に管理運営を行わせる。 ・松原海水浴場は警備・清掃等委託契約を行うことにより維持管理する。 ・小岱山ふるさと自然公園は委託により管理及び巡視活動を行う。	⇒	【15】 事務事業を構成する細事業( 12 )本 ① 「たまら」指定管理業務 ② 松原海水浴場事業 ③ 小岱山ふるさと自然公園事業

## 《事務事業実施に係るコスト》

			H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	1,341	1,341	1,548	1,548	0
		起債	0	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	29,893	40,979	32,108	30,521	0
		【16】 小 計	31,234	42,320	33,656	32,069	0
		[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0	0	0	0	
	職人 員件 の費	職員人工数	0.48	0.37	0.63	0.63	
		職員の年間平均給与(千円)	5,871	5,925	5,925	5,925	
【17】 小 計		2,818	2,192	3,733	3,733		
合 計		34,052	44,512	37,389	35,802		

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H27実績	H28実績	H29実績	H30計画
① 「たまら」指定管理業務	指定管理者に基本協定に基づき、管理運営を行わせる。	開館日数	日	365	365	365	365
② 松原海水浴場事業	委託により警備・清掃を行う。	委託期間	日	46	43	40	39
③ 小岱山ふるさと自然公園事業	委託により管理を行う。	委託期間	日	365	365	365	365

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価		H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算
	対象(施設利用者数(H30は目標値入力))	179694	180976	187850	180000
	投入コスト合計(千円)	34,052	44,512	37,389	35,802
	対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	0	0
	コスト評価(対前年比)	***	77.05% (↓)	123.57% (↑)	100.07% (↑)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H27目標	H28目標	H29目標	H30目標
			H27実績	H28実績	H29実績	
1 利用者数	たまら、松原海水浴場、小岱山ふるさと自然公園、Y-BOXの延べ利用者数	人	180000	180000	180000	180000
2			179694	180976	187850	
* 成果未達成時の理由						

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/> ・法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	
	<input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要があるが薄れている	
	<input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	
	<input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる	
効率性 【22】	<input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている	
	<input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	
	<input checked="" type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	
	<input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
有効性 【23】	<input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある	
	<input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	
	<input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	
	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している	
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した	【24】
	<input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	
	<input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる	
	<input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい	
	<input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	
	<input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している	
	<input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	
	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】	
	<input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(受益者負担はなじまない)	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	平成35年度の指定管理者の見直し時期に向け、担当同士で検討は行っているが、それぞれが指定管理施設であるため、積極的な協議、検討をする必要がある。松原海水浴場の一体的な管理運営の方法としては、引き続き指定管理の方向で検討している。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小して継続	総合判定 A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	<input checked="" type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 本事業の内、松原海水浴場については、同敷地内に3施設が混在し、所管する課が3課に分かれているため、管理が1本化されておらず、外部からの苦情が多い。指定管理導入の明確な時期は見えていないが、平成29年度に引き続き、事務の簡素化を図るため、松原海水浴場(磯の里、岱明コミュニティセンターを含む)の一体的な管理運営の手法として、次回の指定管理候補者選定の際に指定管理の検討余地がある。			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【27】	施設管理においては所管する施設が多く、いわゆる「ハコモノ」は経年劣化による老朽化など多くの課題を抱える。現在、指定管理者制度において管理運営を行っている施設については、民営化の方向で進めていく方針である。	評価責任者 吉田 勇人
-------------------	--	----------------

# 事務ふりかえりシート

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	草枕の里事業		所管課 【2】	ふるさとセールス課
			評価者(担当者)	財津 光那
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	③賑わいと活力ある産業づくり		
	主要施策(節)	(4)観光・物産プロモーションの推進		
	施策区分			重点 施策 【4】 <input type="checkbox"/> 該当
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 0 千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令・県・市条例等【 玉名市草枕交流館条例、前田家別邸条例 】 <input type="checkbox"/> その他の計画【 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事业 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【		】	款 7 項 1 目 4 細目 3

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	玉名市天水町にしかない地域資源を最大限に活用し、地域の活性化及び観光客誘客を図り魅力ある観光地域づくりを行う必要がある。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	市民及び観光客
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	草枕の里を適切に管理することにより、訪れる観光客の満足度やイメージを向上させ「また来たくなる」リピーターの増加を図る。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【
実施方法 【13】	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【
事務事業の具体的内容 【14】	・非常勤職員を配置して適切な管理運営を行う。 ・施設の維持管理においては有効活用を図りながら維持管理を行う。また、維持管理を実施する中で、漱石保存会の支援を受け雑草の除去、樹木の剪定等を行っている。この漱石保存会に対しては、補助金交付を行っている。 ・天水地域の観光関連事業所で構成された「天水・草枕の里観光協議会」の事務局的な機能も有している。
	【15】 事務事業を構成する細事業( 1 )本 ① 草枕交流館・前田家別邸運営事業 ② ③

## 《事務事業実施に係るコスト》

			H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	8,370	9,371	8,971	9,165	0
		【16】 小計	8,370	9,371	8,971	9,165	0
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	4,919	4,715	6,156	6,336		
	職人 員 件 の 費	職員人工数	0.59	0.29	0.31	0.31	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,871	5,925	5,925	5,925	
		【17】 小計	3,464	1,718	1,837	1,837	
合 計			11,834	11,089	10,808	11,002	

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H27実績	H28実績	H29実績	H30計画
① 草枕交流館・前田家別邸運営事業	草枕交流館を拠点に前田家別邸等、地域資源を活かしたイベントを行う。	草枕交流館開館日数	日	313	310	312	315
②							
③							

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価		H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算		
	対象(来館者数(H30は目標値を入力))	10032	7018	6782	7000		
	投入コスト合計(千円)	11,834	11,089	10,808	11,002		
	対象1単位あたりのコスト(千円)	1	2	2	2		
	コスト評価(対前年比)	***	74.66%	(↓)	99.15%	(↓)	101.39%

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H27目標	H28目標	H29目標	H30目標
			H27実績	H28実績	H29実績	
1 草枕交流館来館者数	草枕交流館の延べ来館者数	人	10000	10500	10500	7000
			10032	7018	6782	
2						

\* 成果未達成時の理由 昨年の夏目漱石没後100年、来館120年の記念年が終了したことにより、来館者数が減少したと思われる。

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/> ・法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	
	<input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄い	
	<input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	
	<input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる	
	<input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	
効率性 【22】	<input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	
	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	
	<input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
	<input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	
	<input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある	
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	
	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している	
	<input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した	
	<input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	
	<input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる	
公平性	<input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい	c
	<input type="checkbox"/> ・事業については積極的にHPや広報等で情報提供している	
公平性	<input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している	c
	<input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	
公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】	【24】
	<input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由( 受益者負担はなじまない )	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	現在の夏目漱石や小説「草枕」の情報に特化した施設から玉名市全体の観光案内所の役割を持たせた観光交流施設へ展開させるため、平成31年度を目標とした民間委託に向け協議・検討を行った。				
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小して継続	総合判定	C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	<input checked="" type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 市内外の認知度向上のためには民間活力による玉名市全体の観光案内所の機能を持った観光交流施設への展開が望ましいと考えるため、引き続き平成31年度を目標とした民間委託に向け協議・検討を続けていく。				

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【27】	夏目漱石ファンは潜在的に多く、来場者も草枕交流館が6,700~10,000人/年、前田家別邸が4,000~6,700人/年と比較的多くの来場者がある。夏目漱石に特化した施設であるが、今後は、漱石はもとより、天水地区の情報発信拠点としての機能も充実させていきたいと考える。	評価責任者 吉田 勇人
-------------------	---	----------------



《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H27実績	H28実績	H29実績	H30計画
① 玉名大俵まつり事業	実行委員会に補助金を交付する。併せて事務局を運営する。	実行委員会開催回数	回	15	15	15	15
② 高瀬裏川花しょうぶまつり事業	実行委員会に補助金を交付する。併せて宣伝活動や案内所等の受け入れ業務を行う。	イベント開催期間	日	16	16	16	16
③ 草枕ウォーキング事業	メディア媒体に対し事業のPRを行う。	イベント開催期間	月	3	3	3	3

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価		H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算
	対象(観光客、参加者数(H30は目標値を入力))	223174	160501	189373	251100
	投入コスト合計(千円)	13,203	44,121	15,926	15,477
	対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	0	0
	コスト評価(対前年比)	***	21.52% (↓)	326.87% (↑)	136.44% (↑)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H27目標	H28目標	H29目標	H30目標
			H27実績	H28実績	H29実績	
1 観光客数	玉名大俵まつり、高瀬裏川花しょうぶまつり、草枕ウォーキングの合計観光客数	人	300000 222968	300000 159724	300000 188422	250000
2 スポーツツーリズム参加者数	ビーチサッカー、ウォーターサバイバルゲーム、トレイルランの合計参加者数	人	200 179	600 700	700 846	800
* 成果未達成時の理由 例年花しょうぶまつりは期間中の天気や、その年の開花状況などが来場者数に影響しており、来場者が伸びなかった。草枕ウォーキングについては、当日の悪天候により予定の参加者数を下回る結果となった。						

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/> ・法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	
	<input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている	
	<input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	
	<input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる	
効率性 【22】	<input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	
	<input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
	<input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	
	<input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある	
有効性 【23】	<input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	
	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している	
	<input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した	
	<input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	
公平性	<input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる	b
	<input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい	
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	b
	<input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している	
公平性	<input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	【24】
	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】	
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(受益者負担はなじまない)	【24】

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	観光客数の回復・増加のため、既存のイベントの充実を図るとともに、ビーチサッカーやアウトドアイベントなど新規事業に対しても来場者の満足度が高くなるような企画を行い、参加者数の増加を図った。また、イベント誘客関係事業については告知期間を重視し、充分な告知を行うこととした。大俵まつり実行委員会については、新たな企画の部会を作成するなどイベントに厚みを持たせるための組織体制強化を行っている状況である。民間委託については、玉名観光協会への事務局移管を軸に引き続き検討していく。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小して継続	総合判定 A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	大俵まつり実行委員会については、今後玉名観光協会に事務局移管する方向で検討しているが、その実現に向け実行委員会の組織体制の強化を図りつつ、一方で効率的な方法を模索しながら事務局の負担を減らし、玉名観光協会事務局を担えるような整備をしていく必要がある。イベント全体としては、今後も来場者の満足度の向上を図りつつ、課題である滞在時間の延長、宿泊につながる動きを検討していく。			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【27】	イベント誘客事業については、各々のイベントにおいて集客もあり相応の成果は出ていると認識している。大俵まつりについては補助金交付団体であるため、事務局の移譲を検討中である。鍋松原海岸を活用したアウトドアスポーツなど新たな取組みも参加者が年々増加傾向にあるが、宿泊にまでは繋がっていないため、仕掛けの検討も必要。イベント等の実施主体である実行委員会などの高齢化、後継者確保が課題となっている。	評価責任者 吉田 勇人
-------------------	--	----------------

事務ふりかえりシート

<<基本情報>>

Table with 7 rows and multiple columns containing details of the business activity, including name, location, implementation basis, and classification.

<<事務事業の目的>>

Table with 3 rows detailing the purpose, target audience, and intended outcomes of the business activity.

<<事務事業の概要>>

Table with 5 rows providing an overview of the business activity, including duration, main body, implementation method, and specific content.

<<事務事業実施に係るコスト>>

Cost breakdown table with columns for H27-H30 fiscal years and overall totals, including categories like personnel costs and general expenses.



《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H27実績	H28実績	H29実績	H30計画
① 着地型観光商品開発事業	観光客の滞在時間を延ばすため体験型の旅行商品を開発する。	会議開催回数	回	12	12	12	12
② 地域資源を活かした受入態勢整備事業	地域資源を活かしたツアーやイベントを実施する	イベント開催回数	回	***	2	2	2
③							

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価		H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算
	対象(参加者数(H30は目標地を入力))	204	221	149	265
	投入コスト合計(千円)	5,166	4,284	4,796	5,627
	対象1単位あたりのコスト(千円)	25	19	32	21
	コスト評価(対前年比)	***	130.64% (↑)	60.22% (↓)	151.59% (↑)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H27目標	H28目標	H29目標	H30目標
			H27実績	H28実績	H29実績	
1 着地型旅行商品参加者数(旬たまWEEK)	参加者数	人	250	250	250	250
			188	209	135	
2 着地型旅行商品数(旬たまWEEK)	商品数	本	15	15	15	15
			16	12	14	
* 成果未達成時の理由 多数の申し込みがあった商品が天候不良により中止となったため参加者数が減少した。また、商品数については例年実施していたみかん狩り体験が不作のため受け入れ先の協力が得られず、1減となった。						

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	
	<input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要がある	
	<input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	
	<input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる	
	<input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	
効率性 【22】	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
	<input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	
	<input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある	
	<input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	
	<input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い c
	<input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した	
	<input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	
	<input checked="" type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる	
	<input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい	
	<input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	
公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】	【24】
	<input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由( 受益者負担はなじまない )	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	着地型観光商品についてラインナップの充実を図るため協議を行ったものの、新たな受け入れ先が見つからなかったこと、既存の受け入れ先も作物の不作などの事情で協力が得られなかったことにより、新規プログラムの開発には至らなかった。天候不良により中止となったプログラムが2件あったことから参加者数は減少したものの、申込者数は昨年の参加者数を超過しており、「旬たまWEEK」が定着・認知されてきたことがうかがえる。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小して継続	総合判定 C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	<input checked="" type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止			
	現在、期間限定となっている着地型旅行商品を通年で提供できるよう受け入れ先の増強、新規プログラムの開発、販売期間の延長など引き続き整備を行っていく。また、玉名観光協会「たまらラ」ウェブサイト上で、着地型観光商品の受注から精算までをワンストップで行えるよう、販売体制の強化を図っていく。			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【27】	受け入れ態勢整備事業については、着地型観光商品開発やスポーツ合宿等の共同誘致(定住自立圏事業)など、魅力ある素材を発掘し、活用することで、市外からの誘客に繋げていきたい。商工会、県立大、観光協会などとの連携事業もあり、継続していくための民間の収益性が課題。	評価責任者 吉田 勇人
-------------------	--	----------------



《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H27実績	H28実績	H29実績	H30計画
① 岱明夏まつり事業	実行委員会に対して補助金を交付	補助金交付回数	回	1	1	1	1
② 横島夏まつり事業	実行委員会に対して補助金を交付	補助金交付回数	回	1	1	1	1
③ 天水夏まつり事業	実行委員会に対して補助金を交付	補助金交付回数	回	1	1	1	1

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価		H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算		
	対象(地域住民(開催回数3回))	3	3	3	3		
	投入コスト合計(千円)	6,107	6,413	5,583	5,583		
	対象1単位あたりのコスト(千円)	2,036	2,138	1,861	1,861		
	コスト評価(対前年比)	***	95.23%	(↓)	114.87%	(↑)	100.00%

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H27目標	H28目標	H29目標	H30目標
			H27実績	H28実績	H29実績	
1 来場者数	岱明・横島・天水の夏祭りの来場者合計数		—	7200	6700	5900
2			7200	6700	5900	

\* 成果未達成時の理由 少子高齢化の影響で来場者数が減少していると思われる。

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/> ・法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	
	<input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要がある	
	<input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	
	<input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる	
効率性 【22】	<input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	
	<input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
	<input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	
	<input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある	
有効性 【23】	<input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	
	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している	
	<input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した	
	<input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	
公平性	<input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる	b
	<input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい	
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	b
	<input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している	
公平性	<input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	b
	<input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	
公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】	【24】
	<input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(受益者負担はなじまない)	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	平成27年度から各夏まつり実行委員会及び玉名市商工会へ補助金に頼らない自主財源の確保を要請したことにより、各町とも物品販売や協賛金などにより自主財源の確保に努めた。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小して継続	総合判定 A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	<input checked="" type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 自主財源の比率は、岱明約26%、横島約36%、天水約71%である。現状、各夏まつりへの補助額及び比率が一定ではないため、将来的に補助額を統一するためにもこれまで以上に自主財源の確保や事業見直しによるコスト削減による改善が必要である。			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【27】	以前から意見として記載しているが、当該3町の夏まつりについては、開催目的がまちづくりへの自主的な参画と地元意識の高揚を図り、町の活性化を目指すとともに、町民同士のふれあいと連携を図るや、市民相互の親睦を図り、健康で明るい地域づくりに寄与するためなど、当該地域に根付いた祭りであり、観光的要素が薄く、当該課で所管することに疑問がある。よって、当該事業を実施すべき適正な部署に移管すべきであるとする。	評価責任者 吉田 勇人
-------------------	--	----------------



《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H27実績	H28実績	H29実績	H30計画
① 玉名観光魅力アップ事業	ターゲット地域を中心に誘客キャンペーンを実施	誘客訪問回数	回	45	47	46	50
② 観光HPPR事業	市HPに情報掲載、民間HPに情報提供	市HP情報掲載件数	件	98	97	99	100
③ 各種広告掲載事業	メディア媒体等で各種イベント等を紹介	広告件数	件	115	114	113	120

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価		H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算
	対象(観光客数(H30は目標値入力))	2302517	1528135	1707834	2500000
	投入コスト合計(千円)	81,992	10,605	10,866	10,813
	対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	0	0
	コスト評価(対前年比)	***	513.11% (↑)	109.12% (↑)	146.88% (↑)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H27目標	H28目標	H29目標	H30目標
			H27実績	H28実績	H29実績	
1 観光客数	県に報告した玉名市の観光統計の入込客数	人	2500000	2500000	2500000	2500000
			2302517	1528135	1707834	
2						

\* 成果未達成時の理由 観光客数については震災の発生したH28年度から多少は持ち直している状況ではあるが、震災以前の数値と比較するとかなり落ち込んでいる。特に宿泊客数の低下、県外の日帰り客数の低下など。まだまだ、熊本-震災というイメージが払拭できていないのも原因の一つかと思われる。

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/> ・法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	
	<input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要がある	
	<input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	
	<input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる	
効率性 【22】	<input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	
	<input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
	<input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	
	<input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある	
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/> ・成果指標を設定している	
	<input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した	
	<input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	
	<input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる	
公平性	<input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい	c
	<input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	
	<input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している	
	<input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	
	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】	
	<input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(受益者負担がなじまない) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	パンフレットについては、紙媒体を設置しつつ玉名市ホームページにも掲載している。また、内容によってはQRコードを読み込むことで、観光地の動画を閲覧できるようになっている。また、玉名市の公式観光案内サイト「タマてパコ」を開発し、デジタルでの情報収集にも対応していく予定。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小して継続	総合判定 C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	<input checked="" type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止			
	今後は、紙媒体のパンフレットの質を向上させつつ、公式観光案内サイトの内容も充実を図る。また、スマートフォンを活用した周遊キャンペーン展開し、SNSを活用した情報発信の強化に努める。			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【27】	旅行需要の多様化に伴い、デジタルからアナログまで情報発信も手法が多様化している。紙媒体や公式HP、SNSなども活用し、積極的な情報発信に努める。一方、情報発信に際しては、細心の注意を払い、間違った情報や曖昧な情報の発信防止に努めることも重要である。	評価責任者 吉田 勇人
-------------------	--	----------------



《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H27実績	H28実績	H29実績	H30計画
① 玉名観光協会事業	補助金交付・人的支援を実施することにより観光振興を図る。	イベント開催回数	回	3	3	3	3
② 玉名温泉活性化事業	補助金交付・人的支援によるイベント実施や環境整備	イベント開催回数	回	15	15	15	15
③ 県北観光協議会事業	県北の自治体と連携して観光PRを実施する。	観光PR回数	回	4	4	4	4

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価		H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算
	対象(観光客数(H30は目標値入力))	2302517	1528135	1707834	2500000
	投入コスト合計(千円)	4,624	23,506	24,046	24,306
	対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	0	0
	コスト評価(対前年比)	***	13.07% (↓)	109.23% (↑)	144.86% (↑)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H27目標	H28目標	H29目標	H30目標
			H27実績	H28実績	H29実績	
1 観光客数	県の観光統計による入込客数	人	2500000	2500000	2500000	2500000
			2302517	1528135	1707834	
2 温泉旅館宿泊者数	県の観光統計による宿泊客数	人	102000	110000	110000	110000
			107081	129242	109496	

\* 成果未達成時の理由 地震の影響で、H28は復興業者の増加や旅行券発行により宿泊客が増加していた。

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/> ・法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	
	<input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要がある	
	<input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	
	<input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる	
効率性 【22】	<input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている	
	<input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	
	<input checked="" type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	
	<input checked="" type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある	
	<input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	
	<input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	
	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している	
公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】	【24】
	<input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由( 受益者負担はなじまない )	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	県北観光協議会内に国内誘客事業部会と海外誘客事業部会を設置したことから、それぞれの事業に専門的に、より効率的に取り組むことができるようになった。重複した市町構成となる協議会事業については、統廃合に向けて、引き続き検討を行っている。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小して継続	総合判定 A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	<input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 菊池川流域日本遺産の認定を受けたことや、H31の大河ドラマ「いだてん」放送、熊本DCIに向けて、各協議会や周辺地域との連携の必要性が高まっている。本市単独の活動だけでなく、広域で連携し、観光素材を組み合わせることで誘客活動を行うことで、交流人口の増加を図りたい。また、各協議会事業がより効率的に展開できるよう、事業構成の検討を引き続き行いたい。			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【27】	本事業については、(一社)玉名観光協会を始め、市内各団体との連携はもとより、荒尾・玉名地域や熊本県北観光協議会なども広域的に連携し、点ではなく面としての玉名地域の魅力を発信し、交流人口の増加に努める必要があり、今後も継続して事業を進めていく必要がある。	評価責任者 吉田 勇人
-------------------	--	----------------

# 事務ふりかえりシート

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	インバウンド推進事業		所管課 【2】	ふるさとセールス課
			評価者(担当者)	乗富 あずさ
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	③賑わいと活力ある産業づくり		
	主要施策(節)	(4)観光・物産プロモーションの推進		
	施策区分	(1)インバウンド事業の推進		
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input checked="" type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 0 千円】 <input type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 観光振興計画 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 】 款 7 項 1 目 4 細目 17			

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	人口減少による国内観光需要の増加が見込めず、今後は国の施策に伴い国内への外国人観光客の増加が予想される中において、本市への誘客を図るためプロモーションを実施する必要がある。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	外国人
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	多くの外国人を誘客することで、玉名市の観光に対する経済効果を生み地域活性化を図る。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H28 年度から】 【 年度～ 年度まで】		
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】		
実施方法 【13】	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】		
事務事業の具体的な内容 【14】	・地方創生加速化交付金及び推進交付金の両調査事業の結果に基づいて、本市のインバウンドターゲット国である台湾、香港をはじめ東アジアを中心とした海外での旅行博出展や現地エージェント及びメディア等に対してのセールスを実施する。 ・玉名市を訪れる外国人観光客の受け入れをサポートするため、観光地を案内する機能を持った多言語観光音声ガイドサービス(英語・中国語・韓国語)の運用をする。	⇒	【15】 事務事業を構成する細事業( 1 )本 ① インバウンド推進事業 ② ③

## 《事務事業実施に係るコスト》

		H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	
		起債	0	0	0	0	
		受益者負担	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	0	1,875	1,874	1,972	
	【16】 小 計	0	1,875	1,874	1,972	0	
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0	0	0	0		
	職人 員 件 の 費	職員人工数	0.00	0.42	0.39	0.39	
		職員の年間平均給与(千円)	5,871	5,925	5,925	5,925	
【17】 小 計		0	2,489	2,311	2,311		
合 計		0	4,364	4,185	4,283		



《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H27実績	H28実績	H29実績	H30計画
① インバウンド推進事業	旅行博への出展及び現地旅行社及びメディアへの訪問	商談回数	回	***	6	4	4
②							
③							

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価		H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算
	対象(外国人宿泊者数(H30は目標値入力))	2247	1373	2030	2500
	投入コスト合計(千円)	0	4,364	4,185	4,283
	対象1単位あたりのコスト(千円)	0	3	2	2
	コスト評価(対前年比)	***	0.00%	(-)	154.17%

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H27目標	H28目標	H29目標	H30目標
			H27実績	H28実績	H29実績	
1 外国人宿泊者数	県の観光統計による外国人宿泊者数	人	2500	2500	2500	2500
			2247	1373	2030	
2						

\* 成果未達成時の理由 目標は高めに設定を行っている。宿泊者数としては目標に到達していないが、旅行商品を造成・販売できたことは成果として大きいと思われる。

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	
	<input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要がある	
	<input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	
	<input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる	
効率性 【22】	<input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	
	<input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
	<input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	
	<input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある	
有効性 【23】	<input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	
	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している	
	<input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した	
	<input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	
公平性	<input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる	【24】
	<input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい	
	<input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	
	<input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している	
	<input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	
	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】	
	<input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由( 受益者負担がなじまない )	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	台湾・香港を中心とした東アジアにターゲットを絞り、対プロモーションを行っている。旅行商品を造成し、販売まで実施できた。少しずつではあるが、誘客に繋がっている。が、宿泊施設や観光施設においてインバウンドの受入れ態勢が不十分である。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続	総合判定	A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	現在販売されている商品は、横島町いちごマラソンだけである。商品を磨き上げながら、他の既存の素材を生かしておもてなしの充実をはかる必要がある。一昨年熊本県北地域でおもてなしセミナーの開催があったが、参加者が大変すくなかった。活発にインバウンドに取り組んでいる業者を核とし、事業充実を図る。		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【27】	将来的な国内の人口減少に伴う国民の旅行需要減少が危惧される中、海外からの訪日外客数は年々増加しており、2017年で2,869万1,000人(前年比19.3%増)であり、2020年の東京オリンピックを契機に益々の増加が見込まれる。本市においては宿泊客数は2005年の1市3町合併以降、10万人超程で横ばいの状況である。こうした中、本市では香港・台湾を主要ターゲット国とし、いちごマラソン等の各素材を活用し、今後も継続してインバウンド事業を展開していくこととする。	評価責任者 吉田 勇人
-------------------	--	----------------



《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H27実績	H28実績	H29実績	H30計画
① 玉名版DMO構築事業	地域のコンテンツを活用したイベントを開催する	イベント開催回数	回	***	1	0	0
②	人材育成・外国人誘客・情報発信・DMO構築・現状調査	委託事業本数	本	***	5	1	1
③	【推進】玉名版DMO構築事業 インバウンドターゲット国でのマーケティングと受入体制整備	委託事業本数	本	***	1	6	9

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価		H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算		H30年度予算	
	対象(玉名観光協会会員)	53	57	57	59		
投入コスト合計(千円)	0	47,953	27,836	22,836			
対象1単位あたりのコスト(千円)	0	841	488	387			
コスト評価(対前年比)	***	0.00%	(-)	172.27%	(↑)	126.17%	(↑)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H27目標	H28目標	H29目標	H30目標
			H27実績	H28実績	H29実績	
1 観光客数	県の観光統計による入込客数	人	***	2500000	2500000	2500000
			***	1528135	1707834	
2 観光ほっとプラザたまらの販売額	販売額	円	***	50000000	50000000	50000000
			***	45231406	45991650	

\* 成果未達成時の理由 観光客数、販売額ともに目標を高めめに設定しているため。ただし、ともに目標に近づいており引き続き目標を達成できるよう、誘客・販促につながる施策を実施する。

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/> ・法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	
	<input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要があるが薄い	
	<input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	
効率性 【22】	<input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	
	<input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている	
	<input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
	<input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	
	<input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある	
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	a
	<input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	
	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している	
	<input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した	
公平性	<input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	b
	<input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる	
	<input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい	
	<input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	
公平性	<input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している	c
	<input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	
	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる	
	<input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(受益者負担はなじまないため) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	玉名観光協会の体制強化については、29年度実施した「DMO構築に係る地域連携ブランディング事業」や「人材育成事業」を通じてスキルアップや情報の収集・発信の強化に努めた。また、今後10年間の構想と5力年の計画を定めたアクションプランを策定した。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小して継続	総合判定 A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	<input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 第2次玉名市総合計画の中でも重点施策に位置づけられている事業であり、平成38年度までの体制構築を目標に、玉名観光協会の体制強化に向けた人材育成に引き続き取り組む。また、玉名観光協会のWEBサイト上で、着地型旅行商品や物産商品の予約・受注・精算管理等を行えるようプラットフォームを構築し、ワンストップ化を推進し、玉名版DMOの構築支援を引き続き行う。			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【27】	H28年度から取り組んできた地方創生加速化交付金及び推進交付金を活用した玉名版DMO構築については、H30年度が最終年度となるが、市場調査や人材育成、インバウンド対策(香港、台湾からの誘客)、情報発信等を行ってきた。観光地域づくりという観点から関係者の意識改革にも努め、今後、収益を生み出す仕組みづくりを民間主導で実践し、収益を生み出していくことで継続した取組みが可能となり、将来的に地域商社的な役割を果たすことが可能となると考える。	評価責任者 吉田 勇人
-------------------	---	----------------

# 事務ふりかえりシート

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	金栗四三PR事業		所管課【2】	金栗四三PR推進室
			評価者(担当者)	永田 哲朗
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	③賑わいと活力ある産業づくり		重点 施策【4】
	主要施策(節)	(4)観光・物産プロモーションの推進		
	施策区分			<input type="checkbox"/> 該当
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 0 千円】 <input type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 】 <input type="checkbox"/> その他の計画【 】 <input checked="" type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【		款	7
			項	1
			目	7
			細目	1

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	2019年大河ドラマの主人公のひとりに玉名市名誉市民である金栗四三氏が選ばれた。2020年の東京オリンピック開催を契機に日本人初のオリンピックアンとして注目が集まっており、同氏を広く周知するための情報の整理、発信が必要となっている。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	市民、観光客
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	大河ドラマ放送に伴う観光及び地域振興策はまたとない機会である。関連自治体のみならず、県内外で機運を醸成し、同氏及び市の認知度向上や経済、交流人口の活性化等を図る。

## 《事務事業の概要》

事業期間【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 年度から】 【 H29 年度～ H31 年度まで】		
事業主体【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【		
実施方法【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【		
事務事業の具体的内容 【14】	1 金栗四三PR業務…金栗氏をPRするためのチラシ、リーフレット、等身大パネル、クリアファイル等を作成し、県内外の催事において同氏のPR活動を行う。 2 大河ドラマ「いだてん」協議会業務…金栗氏が主人公の一人となる大河ドラマ「いだてん」を玉名地域全体で盛り上げるために協議会を設置し、市内各団体との情報交換を行う作業部会を開催する。また、事業展開についてNHKやオリンピック組織委員会との協議・相談窓口を行う。 3 玉名市、和水町、南関町協議会業務…金栗氏にゆかりのある近隣市町の玉名市、和水町、南関町が合同で協議会を設立し、共通の案内板やポスター、ノベルティ等を作成し同氏をPRすることで、市町一体となった同氏の周知活動を行う。		
	【15】	事務事業を構成する細事業(3)本	
	①	金栗四三PR業務	
	②	大河ドラマ「いだてん」協議会業務	
③	玉名市、和水町、南関町協議会業務		

## 《事務事業実施に係るコスト》

			H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金		0	0	0	0	30,800
		県支出金		0	0	0	0	57,000
		起債		0	0	0	0	0
		受益者負担		0	0	0	0	120,000
		その他		0	0	0	0	0
		一般財源		0	0	9,590	110,345	342,200
		【16】 小計		0	0	9,590	110,345	550,000
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)		0	0	294	0		
	職人 員件 の費	職員人工数		0.00	0.00	1.30	4.60	
		職員の年間平均給与(千円)		5,871	5,925	5,925	5,925	
		【17】 小計		0	0	7,703	27,255	
合計		0	0	17,293	137,600			

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H27実績	H28実績	H29実績	H30計画
① 金栗四三PR業務	各種イベント等に出展し、金栗氏及び玉名市をPRする。	出展回数	回	***	***	12	12
② 大河ドラマ「いだてん」協議会業務	大河ドラマ館(仮称)の運営や地域を盛り上げる施策を協議する。	会議及び部会の開催回数	回	***	***	2	27
③ 玉名市、和水町、南関町協議会業務	玉名市・和水町・南関町が金栗四三氏を核とした一体的なPRを行うため、施策を協議する。	会議及び部会の開催回数	回	***	***	9	15

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価		H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算		H30年度予算	
	対象(市民)	68060	67577	67242	66850		
投入コスト合計(千円)	0	0	17,293	137,600			
対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	0	2			
コスト評価(対前年比)	***	0.00%	(-)	0.00%	(-)	12.49%	(↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H27目標	H28目標	H29目標	H30目標
			H27実績	H28実績	H29実績	
1 各種イベント等に出展し、金栗氏及び玉名市をPRする。	交流人口の増加人数(入込観光客数)	人	***	***	2500000	2500000
2			***	***	1707834	

\* 成果未達成時の理由 観光客数、販売額ともに目標を高め設定しているため。

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input checked="" type="checkbox"/> 直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> 電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標を設定している <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> 手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> 法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> 金額が妥当 <input type="checkbox"/> 金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> 設定できる <input checked="" type="checkbox"/> 設定できない理由( 郷土の偉人のPRを通し、市の認知度向上や地域活性化を図るものであるため。 ) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	平成29年度開始事務事業の為、前回のふりかえりはなし。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続	総合判定 A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	関係する各団体等との連携が必要であるため、情報を集約し連絡及び調整を行っていく。大河ドラマゆかりの地域になるのは県内でも初めてのことであり、状況を把握し、最善と思われる手法を協議しながら事業を執行していく。			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【27】	金栗四三氏をPRするにあたり、関係する各団体等との連携や協議が必要不可欠である。今後も引き続き同氏の功績や人となりを全国に発信することで、同氏や市の認知度向上に努める。	評価責任者 津川 隆一
-------------------	--	----------------